九品仏自治会だより

平成 28 年度定時総会報告

http://setagaya-chousouren.org/　トップ→町会・自治会一覧
（世田谷区町総連ホームページ）

発行者　九品仏自治会
会長　横山　昭夫
奥沢 8-7-4(3701-7558)
発行日　2016.5.6　VOL.210

4 月 23 日に開催した平成 28 年度定時総会で承認された議案書を綴じ込んであります。
20 日に発行する五月の回覧とは別に、急がずに内容に目を通してから回し下さい。

今年度総会参加者は 35 名。始めに会長の発案で、4 月 14 日に発災し今なお続く熊本地震の犠牲者に参加者全員で黙祷を捧げました。また、議案書の審議事項承認後、自治会として被災地に 10 万円の義援金を拠出することを承認しました。

例年、出席した皆さんと地域や生活についての率直な気持ちを話し合う場として、総会後に「交流会」を持ってきましたが、参加者の負担や終了時間が遅くなることなどを考慮し今年は省略しました。

以下に、総会での、会長挨拶、議案書の説明と話合いの概要、及び会長の寄稿「総会後記」を掲載します。なお、昨年度事業報告・決算書、今年度事業計画・予算書の詳細は綴じ込みの議案書でご確認ください。

会 長 挨 拶

事業報告の様子

皆さま、土曜日の午後という貴重な時間を割いて九品仏自治会の定時総会に出席頂き、誠にありがとうございます。二三日前の夕方、散歩をしていましたら、ねこじゃらし公園で一羽のウグイスが素晴らしい音色で一生懸命さえずっていました。それを聞いていたら心和らぎ癒された気分になりました。そして思いました。このまちに生まれて良かった、育って良かったと。このまちは津波や水害の心配もなく、安全で落ち着いた安心して暮らせるまちです。便利でしかも美しく、保育園や幼稚園があり、障碍者の福祉施設が二か所もある弱者にやさしいまちです。鳩や雀が集いウグイスがさえずる潤いのあるまちです。父や母が良くぞこのまちを選んでくれたと思いました。これも先人のお陰です。今日ご出席の皆さまのご努力の賜物でもあります。九品仏自治会もその一翼を担って頑張っています。

本日は、昨年度自治会がどのような活動を行ったか、今年度どのような活動を行おうとしているか、よろしくご審議ください。そして今年度も温かいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

回覧												

議案書の付帯説明より

ふれあい会　ソバ打ち　風景

・昨年、非常時の地域内連絡用にトランシーバーを４台導入した。今後機会のある毎に利用する。
・昨年度のふれあい会企画は、４月:花見、５月:スイーツ食べ比べ、６月:お出かけランチ、７月:ゲーム輪投げ、９・１０月:手芸、１１月:隅田川クルージング、２月:ソバ打ち(男性優先！)、３月:印刷工場見学(親子連れも４組参加))。いずれも好評だった。
・昨年度から検討してきた会員台帳の整備は、今年７月から新規個票作成に入る。防災対策の観点から、差し障りのない範囲で「緊急時連絡先」の把握を目指す。個人情報の取り扱い等には細心の注意を払う。
・今年はふれあい会の手芸作品の「奥沢文化祭」出品を取りやめ、地元での展示を予定。

討議事項より（複数の発言の概要をまとめたことを、ご了承ください）

＜赤十字募金について＞

意見：＊現在、様々な福祉活動があり、様々な支援の仕方･関わり方がある。赤十字の分団の方に取りまとめてもらいたい。＊当番が会費集めと一緒に赤十字の募金とりまとめをすると、半強制と感じる。＊回覧で回すと(班内の)他の人に見られるなど募金の任意性が守れない。＊「日本赤十字」の募金活動なのに、自治会員以外には働きかけをしない事になる。＊日赤本体が古い体制のままで、募金活動の仕方などが現状に合わなくなっているが、住民の側にも知ろうとしないことの責任がある。

☆「この場の審議だけで結論を出すのは早すぎる。理事会で丁寧に検討するべきだ。」との意見が出され、賛成多数で議決され「理事会で１年かけて検討すること。」になりました。

このほか、「共同募金への２７万円は会費収入の８％になるが？」との質問に、「共同募金は、『赤い羽根募金』のことで、金額はこれまで総会で承認されてきた金額。」との説明。　また、当番会員から「当番が固定され交代になっていない地区では、会員間で募金などの理解に温度差があり、当番の仕事が理解されない。」との発言があった。

「総会後記」

今回は出席者から貴重な発言をいただき大変有意義な総会でした。折角貴重な時間を割いて出席頂いたのですからその場で即決したかったのですが、どの発言も重い発言でしたので持ち帰ってよく検討し善処することになりました。発言の内容は寄付の件とお当番の件でした。寄付の件は、関係団体の地元の長も出席していただいていましたので問題点を共通認識出来て大変良かったです。どの発言も、高齢化がこの地域にもいよいよ重くのしかかってきたことを覗わせるものでした。公共の福祉に対してどのように貢献するか会員それぞれ様々な考えがあると思いますが、九品仏自治会は自治という名の付いた主体性を持った誇り高い品格のある団体です。地域の絆を大切にし、弱者にやさしい対応をする団体としての処置を取らせていただきたいと考える次第です。　（寄稿　会長　横山昭夫）

追記：総会出席者に抽選で「感震ブレーカー*」を進呈しました。必要ないのが一番ですが…
(* 自治会だよりでも繰り返しご紹介。『東京防災』の P110 でも触れています)